ウイルス分離及び抗原検出情報 2015年~2016年

山形市内病院

検体採取日

H1 1/12 111 1 11/13/15/F		/大 /十 / / / / / / / / / / / / / / / / /		
	第52週(最終)	第53週(中間)	第1週(中間)	第2週(中間)
	12月21日~12月27日	12月28日~1月3日	1月4日~1月10日	1月11日~1月17日
インフルエンサ゛ウイルスA (H1) pdm09	0	0	0	0
A (H3)型	0	0	0	0
B型(山形系統)	0	0	0	0
B型(ビクトリア系統)	0	0	0	0
C型	0	0	0	0
解析中	0	0	1	0
パラインフルエンザウイルス 1型	0	0	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	0	0	0	0
解析中	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0
RSウイルス	0	0	0	0
<u>ムンフ゜スウイルス</u>	0	0	0	0
アテ゛ノウイルス	0	0	1	0
エンテロウイルス	0	0	1	0
ライノウイルス	0	0	0	0
単純ヘルペスウイルス	0	0	0	0
サイトメカ゛ロウイルス	0	0	0	0
		•		•
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	0/0	0/0	3/7	0/0

コメント:2014年第23週まで、インフルエンザウイルス分離についてA(H1)型とA(H1)pdm型とを併記しておりましたが、分離される株がすべてA(H1)pdm09型 となっていたことから、2014年第24週より記載を統一してA(H1)型としていました。しかし、この表記では以前の季節性A(H1)型を意味する こととなり状況を正しく表現しているとは言い難いものでした。そこで2016年第2週より、「A(H1)pdm09型」という表記に改めさせていた だきます。2009年第32週以降に分離されたA(H1)型はすべてpdm09型でした。長期間に渡り適切でない記載をしてしまい申し訳ありません。

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター